

📄 救命いかだサブスクリプションサービスご提案書

🚤 遊漁船事業者の皆様へ：安心と安全を、もっと手軽に

この度は、遊漁船事業者の皆様が直面する「救命いかだの義務化」に対し、**年間 5 万円以下**で導入できる新しいサブスクリプションサービスをご提案いたします。これは、単なる費用削減ではなく、皆様が安全な航海を続けられるよう、私が個人的に考案したものです。初期費用や維持管理の負担を大きく軽減し、常に最適な救命いかだを提供することで、皆様の事業と海の安全に貢献したいと考えております。

🌟 提案の背景：義務化のその先へ

遊漁船の運航において、乗客と乗員の安全確保は最重要課題です。国土交通省は遊漁船の安全性向上に不可欠であると位置づけ、遊漁船に対し、2026 年 10 月から救命いかだの搭載を義務化する予定です。これは、遊漁船ではない知床遊覧船沈没事故を受けての再発防止策の一つでもあるとされていますが当日あれば有効だったかの検証・実験などはありません。

しかし、救命いかだの購入費用は高額（小型船舶用でも **100 万円から 200 万円程度**）であり、さらに定期的な点検や消耗品の交換、約 8 年後以降の買い替え費用など、維持管理にも少なくない費用が発生します。これにより、多くの遊漁船事業者が経済的な負担を感じているのが現状です。

🌟 サービス概要：費用負担を最小限に、安心を最大限に

提案するサービスは、遊漁船事業者の皆様が経済的負担を大幅に軽減しつつ、安全運航を強力にサポートするためのものです。補助金は多く必要になりますが、**事故率のはるかに高い漁船除外や有効利用確率ほぼ 0%**とされる救命いかだの搭載に対する事業者様の心理的な障壁も薄れると思われます。

- **定額制の安心**：高額な初期費用を不要とし、年間固定料金で突発的な出費をなくします。
- **フルメンテナンス込み**：法定点検、整備、部品交換、そして次世代のいかだへの交換費用まで、すべてサービス料金に含まれます。
- **常に最新・最適な状態**：専門業者によるメンテナンスで、いつでも安心して使える状態を保ちます。
- **補助金活用サポート**：国や地方自治体が提供する補助金制度の活用を全面的に支援します。

💰 料金プラン：年間 5 万円以下で実現する、新しい安全保障

🌟 遊漁船プラン：年間 **50,000 円**（税込）

本プランは、遊漁船事業者の皆様が「救命いかだの義務化」に対応する上で、最も現実的で負担の少ない費用体系を目指しました。この年間 5 万円という価格には、救命いかだのリース料、ランニングコスト（定期点検・整備費用、消耗品交換費用）、そして将来的な買い替え費用まですべて含まれています。

*定員の多い大型の物は年間 60,000 円など少額の価格差はあっても良いと想定します。

項目	内容
サービス内容	救命いかだの提供、定期点検・法定検査、消耗品交換、買い替え費用全て込み
契約期間	1 年契約(自動更新)
支払い方法	年一括払い、または月額払い

📌 費用負担軽減と補助金活用の仕組み

この「年間 5 万円以下」という画期的な価格設定は、以下のメカニズムによって実現されます。

- **圧倒的な初期投資不要:** 100 万円から 200 万円程度にもなる高額な救命いかだを購入する必要がありません。
- **予測可能な費用と長期的な安心:**
 - 10 年間利用しても総額約 50 万円と、購入して保有する場合と比較して大幅なコスト削減が見込めます。
 - 費用が明確なため、長期的な経営計画を立てやすくなります。
- **国や補助金団体による費用負担:**
 - 国や補助金団体からの支援を前提とすることで、通常では実現困難な低価格でのサービス提供を可能にします。
 - 国土交通省や水産庁は、遊漁船の安全設備導入に対し、購入費の 2/3 を支援する事業を実施しており、補助上限額 75 万円の補助制度もあります。不足分は各団体や更なる国の予算増額を要求します。予算確保が出来た時点で義務化施行日を決定します。
 - これらの補助金を活用することで、年間 **5 万円以下**という料金設定が可能になります。
 - 国側も、義務化を推進する上で、このような手厚い補助を行うことで、遊漁船の安全性向上に向けた積極的な姿勢を示しやすくなります。

🌟 導入のメリット: 安全性の向上と経営の安定化

🚤 遊漁船事業者様にとってのメリット

- **経済的負担の大幅軽減:**
 - 初期費用ゼロ、年間 5 万円以下の定額料金で、高額な設備投資の必要がなくなります。
 - 定期検査費用や部品交換費用などのランニングコストも含まれるため、予期せぬ出費が発生しません。
- **メンテナンスの手間と心配からの解放:**

- 煩雑な点検スケジュール管理や、救命いかだの老朽化による買い替えの検討は不要です。
- 専門業者による点検・メンテナンスにより、常に最適な状態の救命いかだをご利用いただけます。

• **義務化への確実な対応:**

- 法改正による救命いかだの搭載義務化に、コストを抑えつつ確実に準拠できます。
- 常に最新の安全基準を満たした救命いかだを提供し、安心して事業を継続していただけます。

• **経営の安定と利用者からの信頼:**

- 費用の明確化により、経営計画が立てやすくなります。
- 万が一の事態に備えた安全対策への積極的な姿勢は、利用者の皆様からの信頼向上に繋がります。

JP 国や補助金団体にとってのメリット

• **遊漁船全体の安全性向上:**

- 費用面での障壁が取り除かれることで、より多くの遊漁船に救命いかだが普及し、海難事故時の生存率向上に貢献します。

• **政策効果の最大化:**

- 補助金制度が効果的に活用され、救命いかだ搭載義務化という国の政策目標の達成を加速させます。

• **国民の安心感の醸成:**

- 遊漁船の安全体制が強化されることは、国民全体の海洋レジャーへの安心感を高めることに繋がります。

26年2月12日制作
(AIを利用し手直し含む)

遊漁船のみり
藤原 進